

将来目標

具体的な施策及びリーディングプロジェクトの推進に向け、平成32年度末までの目標を次のように設定します。

[1] 緑の保全・創出及び都市公園等の整備に関する将来目標

将来目標 ① 都市計画区域及び市街化区域の緑被の減少速度

都市計画区域及び市街化区域において、計画の初年(平成23年度)以降は、緑被の減少速度を計画以前(平成4～16年)に比べて半減させることを目指します。

将来目標

緑被の減少速度を半減

○都市計画区域の緑被の減少面積
(平成4～16年度)800ha/年→(平成23～32年度)400ha/年
○市街化区域の緑被の減少面積
(平成4～16年度)28ha/年 →(平成23～32年度)14ha/年

将来目標 ② 緑の確保や創出面積

環境保全や防災等に資する都市公園の整備や「あいち森と緑づくり都市緑化推進事業」の実施により、計350haの樹林や芝等の緑の確保や創出を目指します。

将来目標 **350ha**

将来目標 ③ 1人あたり都市公園面積

都市計画区域における1人あたりの都市公園面積を7.9㎡/人に増やすことを目指します。

現況値 (平成21年度末)

7.29㎡/人 → 将来目標 **7.9㎡/人**

将来目標 ④ 1人あたり都市公園等面積

都市計画区域における1人あたりの都市公園等面積※を13.7㎡/人に増やすことを目指します。

※都市公園に、地方自治法設置又は市町村条例設置の公園、港湾緑地、市民緑地等の都市公園に準ずる公園・緑地も含めた面積

現況値 (平成21年度末)

12.8㎡/人 → 将来目標 **13.7㎡/人**

将来目標 ⑤ 県民参加による「ふるさとの森づくり」の実施数

都市公園等の公有地において、ナラ枯れや竹林の侵食あるいは手入れ不足により荒廃した森の計画的な再生、または、苗木等から育てたどんぐりの木など昔からその地域に生育していた樹種による森を新たに創出する「ふるさとの森づくり」を県民参加で20箇所行うことを目指します。

将来目標 **20箇所**

[2] 計画の策定に関する将来目標

将来目標 ⑥ 緑の基本計画策定市町村数

本計画の公表以降に、都市計画区域内のすべての市町村が、本計画を指針として緑の基本計画の策定もしくは改訂することを目指します。

将来目標 **51市町村**

将来目標 ⑦ 景観計画策定市町村数

良好な景観を形成する緑のまちづくりを進めるため、景観行政団体となり景観計画を策定した市町村数を15市町村に増やすことを目指します。

現況値 (平成22年度末)

6市 → 将来目標 **15市町村**

[3] 県営都市公園に関する将来目標

将来目標 ⑧ 県営都市公園の年間利用者数

県営都市公園の年間利用者数※を800万人に増やすことを目指します。

※公園駐車場の利用台数等をもとに推計

現況値 (平成22年度末)

590万人/年 → 将来目標 **800万人/年**

将来目標 ⑨ パークマネジメントプランを作成する県営都市公園数

県営都市公園において、管理運営、整備等の新たな仕組みづくりとしてパークマネジメントプランを9公園で作成することを目指します。

将来目標 **9公園**

将来目標 ⑩ 市民団体等との協働により管理運営する県営都市公園数

県営都市公園において、市民団体等との協働のためのプラットフォーム(協議会等)を設立し、管理運営を継続的に実施している公園を7公園に増やすことを目指します。

現況値 (平成22年度末)

1公園 → 将来目標 **7公園**

将来目標 ⑪ 市民団体等が主体的に取り組む県営都市公園での活動回数

県営都市公園において、市民団体等が主体的に取り組む様々な活動の回数を1,900回/年から2,100回/年に増やすことを目指します。そのうち、生物多様性に関する活動(樹林地整備、湿地再生、自然観察会、工作教室等)の回数を570回/年から630回/年に増やすことを目指します。

現況値 (平成22年度末)

1,900回/年 → 将来目標 **2,100回/年**

将来目標 ⑫ 生物多様性の保全・再生・創出計画を作成する県営都市公園数

県営都市公園において、公園全体または箇所毎に、生物多様性の保全・再生・創出に向けた計画を7公園で作成することを目指します。

将来目標 **7公園**